

2016年度 松田康子氏 「室内楽（鍵盤と弦）BII」特別講義

1. 日 時 : 2016年 11月 10日(木) 9時30分～16時45分
2. 場 所 : F号館 214教室
3. 対象学生【必修】 : 「室内楽（鍵盤と弦）BII」受講生 他聴講可（学内のみ）
4. 講師紹介 : 松田 康子氏

京都出身。13歳で大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。京都市立堀川高校音楽科から東京藝術大学、同大学大学院に学ぶ。伊奈和子、土肥みゆき、田村宏、永井進、園田高弘の各氏に師事。73年渡独。ミュンヘン音大でローズル・シュミットに師事。国家芸術家試験に最優秀賞で合格。78年ヴィットリオ・グイ室内音楽コンクール入賞。84年セルジュ・チェリビダッケ指揮ミュンヘンフィルとラヴェル「ピアノ協奏曲」で共演、キャリアを本格スタートさせる。88年・90年・94年・96年ベルリン・フィルハーモニーホールでのモーツァルト・ピアノ協奏曲ツィクルス（コンラート・ラッテ指揮）。89年ザルツブルクのモーツァルト週間でレオポルト・ハーガー指揮ウィーンフィルと共演したのをはじめ、ポーランド室内管弦楽団、北ドイツ放送響、ミュンヘンフィル、中央ドイツ放送響と共演。

このほかにもザルツブルク・モーツァルト管弦楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、パドヴァ室内管弦楽団、カッセル州立管弦楽団、バッハ・コレギウム・ミュンヘンなどの公演に招かれている。

リサイタルソリストとしてミュンヘン、モスクワ、ミラノ、ヤンゴンで演奏。

2011年にはゲーティンスティテュートの招待で、バングラデシュ、インドで演奏会、マスターコースを開く。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、バイエルン放送響コンサートマスターのフロリアン・ゾーンライトナー、州立歌劇場管弦楽団首席チェロ奏者ペーター・ヴェットケ、バイエルン放送響元首席フルーティストのアンドラーシュ・アンドリアンらとしばしば舞台を共にしているほか、2004年よりフランス、スペイン、イタリア、スロベニアでフランス人バイオリニストピエール・オマージュとデュオで演奏活動。

ブゾーニ、カサ・グランデ、ポルト、ポッツォーリ、サンレモ、アンドーラ、ピネロロなどの国際ピアノコンクール、トリオ・デ・トリエステ室内楽、ヴィットリオ・グイといった室内楽コンクールの審査員を務める。ミュンヘンのR・シュトラウス音楽院、京都市立芸術大学を経てミュンヘン音楽大学で教鞭を執る。

5. 講義概要 :

9:30	袋井 杏子 (大4)	L.v.Beethoven	Klavierquartett Es-dur WoO36-1 1,2mov.
10:15	隅田 梨聖 (大4)	L.v.Beethoven	Klavierquartett Es-dur WoO36-1 3 mov.
11:15	越智 由稀 (大4)	J.Brahms	Klavierquartett Nr.1 g-moll Op.25 1mov.
12:00	青山 理紗子 (大4)	G.Mahler	Fragment eines Klavierquartettsatz A-dur
- 休憩 12:45～13:30 -			
13:30	造座 千晴 (大4)	G.Faure	Quatuor pour er cordes n1 c-moll Op.15 1,2mov.
14:15	藤原 麻里菜 (大4)	G.Faure	Quatuor pour er cordes n1 c-moll Op.15 3,4mov.
15:15	釜場 美結 (大4)	R.Schumann	Klavierquartett Es-dur Op.47 1,2mov.
16:00	水谷 知夏 (大4)	R.Schumann	Klavierquartett Es-dur Op.47 3,4mov.